

～平成30年介護報酬改定と小規模多機能の今後～

平成18年の小規模多機能型居宅介護の創設は、認知症高齢者の自宅や地域での暮らしの支援を中心とした新たなケアモデルの必要性から生み出されました。新たなケアモデル、すなわち認知症の人の地域生活を支援するために、私たち事業者はライフサポートワークの考え方をまとめ実践してきました。

小規模多機能型居宅介護が中重度の方々を支え切るサービスとして確立していくために、中重度になつても在宅での豊かな暮らしを継続できる実践を集め、現時点でのケアモデルを示すとともに、効率化が求められる中での在宅での認知症支援のあり方を確立することを目的に調査研究したものをお伝えします。

また、児童、障がい、生活困窮など地域の課題に取り組む姿を明らかにし、地域包括ケアにおける小規模多機能型居宅介護事業所のあり方を検討します。

◆期　　日　　2018年3月23日（金）10:30～17:00まで

◆会　　場　　世界貿易センタービル roomA (JR山手線・浜松町駅直結)

◆内　　容

10:00～ 開場

10:30～11:30 全国実態調査「小規模多機能型居宅介護の動向」

　　全国小規模多機能型居宅介護事業者連絡会　主任研究員　後藤　裕基

11:30～12:30 昼食・休憩

12:30～13:30 地域包括ケアの構築と平成30年度報酬改定について

　　厚生労働省老健局振興課　　課長補佐　加藤　英樹

13:40～15:50 中重度者を支える小規模多機能の実践

◆中重度者を支える小規模多機能

　　日本社会事業大学大学院

特任教授　宮島　渡

◆事例1) 手と手（長野県）

管理者　原山直人

◆事例2) めおといわ「ゆい」（福岡県）

管理者　党　一浩

16:00～17:00 【まとめの対談】共生型サービスと小規模多機能の今後

　　社会福祉法人共友会（石川県）

理事長　岩尾　貢

　　特定非営利活動法人コレクティブ（熊本県）

理事長　川原　秀夫

（すべて敬称略）

◆参加費 無料 ※資料代1,000円。

◆申込方法 申込〆切：3月16日（金）

①参加希望の方は下記に必要事項を記入のうえ、FAXにてお申し込みください（定員：90人）。

②折り返し、この参加申込書に受付印を押したうえ、会場地図等を添付し、FAXにて返送いたします。当日はその参加申込書をお持ちになり会場までお越しください。

小規模多機能型居宅介護の今後（H29報告会）／

Fax:03-6430-7918

※FAX番号はお間違えのないようお願いいたします。		事務局受付日： 月　日	受付印
参加者名	①	②	
所属（事業所）			
住所	〒		
TEL		FAX	